

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010E1	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	片山 朗		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	片山 朗		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	片山 朗		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]新館402(演習室)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010E2	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高木 かおる		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高木 かおる		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高木 かおる		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]新館302(演習室)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010E3	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷口 眞司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷口 眞司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷口 眞司		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]本館46(演習室)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法(学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010E4	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西村 宣彦		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西村 宣彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西村 宣彦		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]ゼミ棟7(演習室)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	<p>知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<ul style="list-style-type: none"> ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 		
授業内容 / Class outline / Con	<ul style="list-style-type: none"> ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505810010E5	科目番号 / Subject code	05810010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	教養ゼミナール		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	深浦 厚之		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	深浦 厚之		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	深浦 厚之		
科目分類 / Class type	教養ゼミナール科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]新館203(演習室)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。		
授業到達目標 / Goal	知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。		
授業内容 / Class outline / Con	・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 6
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/2.0, 0.0/
時間割コード / Time schedule code	20150562020050	科目番号 / Subject code	05620200
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康・スポーツ科学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山内 正毅		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山内 正毅		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山内 正毅, 中垣内 真樹, 小原 達朗, 田井村 明博, 大石 和代, 林田 雅希, 古林 正和, 赤澤 諭, 高橋 浩二, 河合 史菜, 尾崎 幸生, 西郷 達雄, 小川 さやか		
科目分類 / Class type	A健康コンディショニング科目, 査定外, 健康・スポーツ科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習, 講義
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamauchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部保健体育 山内研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2357		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜3限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	健康や身体運動に関する身体的、生理的特性、またはその社会的側面などについて理解を深め、実生活で役立つ知識の獲得をねらいとする。		
授業到達目標/Goal	生活習慣に関連する身体的・精神的疾病の基礎を説明できるようにする。生活習慣と健康、身体運動と健康の関連性を説明できるようにする。個々の生活習慣を振り返り、生活習慣を少しでも改善できるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業で配布する資料を用いて健康や身体運動に関する基礎知識を講義形式で説明する。適時、身近なデータを用いた計算、分析、各自のライフスタイルなどの振り返りなどの演習もおこない実生活に役立つ知識も提供する。		
授業内容/Class outline/Con	以下のテーマに従って健康や身体運動に関する身体的、生理的徳用またはその社会的側面などについて理解を深める。		
キーワード/Key word	健康、生活習慣病、生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。 参考書: 学生と健康, (編) 国立大学等保健管理施設協議会, 南江堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートまたは小テストの合計100%。毎回のテーマに関するレポートを総合して評価する。各週のレポートあるいは小テストは、10点満点で評価し、15回の平均で評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月1日: 中垣内真樹; 運動と健康		
第2回	10月8日: 小原達朗; 身体とコミュニケーション		
第3回	10月15日: 田井村明博; 運動とエネルギー代謝		
第4回	10月22日: 河合史菜; ダンスをたのしむ		
第5回	10月29日: 山内正毅; 運動学習の心理学		
第6回	11月5日: 高橋浩二; 身体運動と健康についての身体論		
第7回	11月12日: 西郷達雄; 心の健康(1)		
第8回	11月26日: 古林正和; 青年期に健康を考える		
第9回	12月3日: 赤澤諭; 生活習慣病(1)		
第10回	12月10日: 古林正和; 生活習慣病(2)		
第11回	12月17日: 林田雅希; 心の健康(2)		
第12回	12月24日: 小川さやか; 心の健康(3)		
第13回	1月7日: 尾崎幸生; 歯と歯ぐきの健康		
第14回	1月14日: 大石和代; 青年期の性		
第15回	1月21日: 科目責任者; 総括(まとめ)		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150566011050	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	日本国憲法		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 省三		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 省三		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 省三		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他, 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]本館11(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	制限しない		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yosida-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館512		
担当教員TEL / Tel	095-820-6397		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本国憲法97条は、人権を「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」とすると同時に「過去幾多の試練に堪へ」てきたという。日本国憲法は、憲法「改正」という現在の「試練」に堪えられるか、憲法を人類の歴史のなかにおいてとらえ直してみよう。		
授業到達目標 / Goal	世界および日本の憲法の歴史、憲法の基本的概念、主要な憲法判例を理解する。個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期する。		
授業方法(学習指導法) / Method	教科書を使用し、人権の思想、人権のためのたたかい、日本国憲法の主要な事件、判例を解説する。		
授業内容 / Class outline / Con	憲法の過去 立憲主義の歴史、現在 人権の実現の状況、未来 改憲問題について講義します。		
キーワード / Key word	立憲主義、民主主義、共和主義		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	(は必携です) 教科書 芦部信喜『憲法第五版』岩波書店 教材 「日本国憲法」「大日本帝国憲法」等を収録する法令集 参考書 中江兆民『三酔人経綸問答』岩波文庫。 森英樹ほか『3・11と憲法』日本評論社、2012。 阪田雅裕『政府の憲法解釈』有斐閣、2013。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(70%) レポート(30%)		
受講要件(履修条件) / Requirements	無し。		
学生へのメッセージ / Message for students	日本国民はいま、憲法の規範を政府の解釈によって変更するという差し迫った課題を突きつけられています。日本国憲法のひとつひとつの条文のもつ重みを受けとめてみましょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	憲法の過去: 立憲主義、憲法とは何か。「人権を承認せず、権力の分立が無い人民は憲法をもたない。」		
第2回	ブルジョア革命と人権		
第3回	人権宣言 - 合州国「独立宣言」・フランス革命「人権宣言」		
第4回	日本の人権思想		
第5回	日本国憲法とその歴史(1)		
第6回	日本国憲法とその歴史(2)		

第7回	憲法のキーワード： 権利と義務（1）
第8回	憲法のキーワード： 権利と義務（2）
第9回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（1）
第10回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（2）
第11回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（3）
第12回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（4）
第13回	憲法と国際社会
第14回	憲法の未来： 憲法「改正」問題（1）
第15回	憲法の未来： 憲法「改正」問題（2）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569062850	科目番号 / Subject code	05690628
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	長崎学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	姫野 順一		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]本館22(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ポルトガルやスペイン、オランダや中国、さらにはイギリスやアメリカ、アフリカなど、多様な国や地域と交流し続けてきた長崎の、多様な機能と歴史の成り立ちを、「長崎学」という地域学の体系で理解する。		
授業到達目標/Goal	長崎の歴史を総合的に理解できる能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	記録文書の文字情報、絵画や古写真といった映像情報、器物などの現物情報に触れながら、長崎の歴史を体系的・総合的に学習する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	南蛮貿易、キリシタン、唐人貿易、出島、居留地、蘭学、通詞、古写真、坂本龍馬、世界遺産		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書：姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、同『古写真に見る幕末明治の長崎』（明石書店）、新『長崎市史』全四巻（長崎市）		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する（55%）。 中間で最終レポートの執筆計画書を提出する（15%）。 長崎に関するテーマを自分で決めて、最終レポートを提出する（30%）。 以上を集計して総合的な最終評価とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	地域の学としての長崎学：長崎・シナ海・インド洋		
第2回	長崎の誕生と南蛮文化の伝来		
第3回	南蛮貿易の展開		
第4回	唐人貿易と長崎		
第5回	唐人文化の伝来		
第6回	キリシタンの弾圧：殉教・棄教・潜伏・隠れ		
第7回	鎖国と出島の機能		
第8回	近世長崎の統治機構		
第9回	長崎蘭学		
第10回	長崎外国人居留地の形成		

第11回	洋学と坂本龍馬
第12回	写真術の伝来と上野彦馬
第13回	幕末明治長崎の宗教伝道
第14回	明治長崎の文明開化
第15回	世界遺産と長崎のまちづくり
第16回	予備日

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150582001050	科目番号 / Subject code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報基礎		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 斉		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 斉		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 斉		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他 , 情報科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済] 本館MS 1		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済学部夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館 631		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義時間終了後、および、sigh@nagasaki-u.ac.jp にて受け付けています。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>授業の概要 情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身に付けるとともに、様々な情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。</p> <p>授業の位置づけ 本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>授業到達目標： 情報端末を正しく用いて情報を扱う情報リテラシーが身につくことを到達目標とする。この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる ・情報機器やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる ・インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算を基本的に理解し、操作方法や活用方法を説明できる ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できる 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>授業方法： 授業は、講義と演習とを組み合わせを進めます。講義内容の理解を深めるために各自が所有する必修パソコンを利用して操作演習を行う演習課題や自習課題を出します。 主体的学修促進支援システム (LACS) を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>授業内容 原則として以下の内容に沿って授業を進めるが、進捗や理解度の状況に応じて若干の変更を行うことがあります。</p>		
キーワード/Key word	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書(2冊)： 「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できません)。 教養教育オリエンテーションにて配付した講義資料。 教材： 必要に応じて、資料や課題などをLACSにて公開します。</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>定期試験 30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。 演習課題 60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。 授業への参加状況 10% 作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点とします。</p>		
受講要件 (履修条件) /Requirements	<p>Windows 8.1~7及びMS-Office Professional/Home&Business 2013/2010がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、長崎大学生協にてOffice365の年間ライセンスまたはMS-Office Professional Academicを購入のこと。</p>		

備考 (URL) /Remarks(URL)	https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 授業方法の説明、必携パソコンの初期設定、無線LAN接続実習
第2回	PCの活用1 Office365セットアップ、LACS紹介と操作実習1
第3回	PCの活用2 LACS紹介と操作実習2、電子メール利用実習
第4回	情報セキュリティ 情報セキュリティとは、利用者・組織が取るべきセキュリティ対策
第5回	ネットワークの仕組み コンピュータのネットワーク、インターネットの構成
第6回	表計算1 Microsoft Excelの機能、基本操作、セルの参照、数式、表の書式設定
第7回	表計算2 グラフ作成・印刷、関数、複数シートを使ったデータ処理
第8回	表計算3 条件設定、複合グラフの作成、データの検索
第9回	表計算4 ピボットテーブル、マクロ活用
第10回	文書作成1 Microsoft Wordの操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	文書作成2 ページの設定、印刷方法、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	プレゼンテーション1 プレゼンテーションとは、資料作成上の留意点、PowerPointについて
第13回	情報のデジタル化 情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化
第14回	プレゼンテーション2 プレゼンテーション実習
第15回	総合演習
第16回	まとめ、試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 7
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586013750	科目番号 / Subject code	05860137
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (健康と医療の安全・安心)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	浜田 久之		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	浜田 久之		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	浜田 久之, 池田 通, 鶴飼 孝, 菊池 泰樹		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済] 本館 2 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部、経済学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	浜田久之 : hhamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	浜田久之 長崎大学病院医療教育開発センター		
担当教員TEL/Tel	浜田久之 095-819-7881		
担当教員オフィスアワー/Office hours	浜田久之 8:45-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかかわりを果たすのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。		
授業到達目標/Goal	健康と医療に関する日本のヘルスケアシステムを知る。 自身の健康増進のために何をすべきかを自覚する。 様々な疾病の一般的な知識を獲得する。 グローバルな視点で医療を考えることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的に講義形式とする。 内容により参加型の討論形式などを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	医療システム 健康増進 様々な疾病		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席時に毎回、テーマに関する考察 (200字~400字) を提出し、これを10点とする。 100点以上を合格とする。90点以下は不合格。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	日頃より医療に関する新聞・TVニュース等に注目すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9/29 世界における日本の医療システムについて説明し、日本の医療について考える。[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]		
第2回	10/6 健康維持や生活習慣病予防について考える(循環器疾患を中心に。)[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]		
第3回	10/13 健康維持や生活習慣病予防について考える(消化器疾患を中心に。)[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]		
第4回	10/20 現代社会における口腔管理の必要性 [歯学部 池田]		
第5回	10/27 歯と骨の疾患の深い関係 [歯学部 池田]		
第6回	11/10 種々の歯周疾患の病態、病因について理解し、歯周病の予防について考える。[歯学部 鶴飼]		
第7回	11/17 噛むことの意義と全身の健康との関わりについて考える。[歯学部 鶴飼]		
第8回	11/24 歯周疾患と全身疾患の関連性について考える。[歯学部 鶴飼]		
第9回	12/1 インターネットの落とし穴 [保健学科 菊池]		
第10回	12/8 インターネットセキュリティ - 1 [保健学科 菊池]		
第11回	12/15 インターネットセキュリティ - 2 [保健学科 菊池]		
第12回	12/22 インターネットセキュリティ - 3 [保健学科 菊池]		

第13回	1/5 海外旅行で病気にならない方法（予防接種を中心に）[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]
第14回	1/12 海外旅行から元気に生きて帰ってくる方法（グループで事例検討）[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]
第15回	1/19 海外旅行のリスク（3回のまとめ）[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 7
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586014150	科目番号 / Subject code	05860141
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (リスク社会と社会科学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西村 宣彦		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西村 宣彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西村 宣彦		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishimra@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館605研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6382		
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的には授業前後としますが、事前にメール連絡いただければその他の時間も応じます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	経済学に代表される社会科学においてもっとも重要な要素は「人間」である。現代社会では、経済的な格差がテロや貧困を生んでいるが、これらの問題の解決の糸口は社会科学は「人間」をどのようなものとして考えてきたかを知る必要がある。本講義では大塚久雄著「社会科学における人間」を教科書として、この内容をもとに社会科学における人間についての理解を深め、リスク社会を切り開く人材の礎とする。		
授業到達目標/Goal	社会科学における人間像として、「ロビンソンクルーソーに見る人間観」、「マルクスの経済学における人間観」について理解でき、社会科学における人間観の基礎が理解できるようになること。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業は、グループ学習法をとります。あらかじめ教科書の指定の部分を予習して、これをレポートとしてまとめてます。授業ではグループでそれぞれのメンバーのまとめを発表し、これを全員でまとめます。さらに、講師が提起する問題について議論し、理解を深めます。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	社会科学 人間観 人間類型 行動様式 分業 合理的経済人		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	大塚久雄著、「社会科学における人間」、岩波新書(1977)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の予習レポート: 50% 授業への積極的な参加: 50% 中間・期末試験は行いません。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	2回目までに教科書を購入してください。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション 授業内容の説明・授業方法の説明		
第2回	ファシリテーション・グループワークについて		
第3回	1) 現代社会科学と人間論		
第4回	2) 人間類型とは何か		
第5回	3) ロビンソン物語の社会的背景(1)		
第6回	4) ロビンソン物語の社会的背景(2)		
第7回	5) ロビンソンの行動様式(1)		
第8回	6) ロビンソンの行動様式(2)		
第9回	7) ロビンソン的人間類型の持つ歴史的意味		
第10回	8) マルクスの「資本論」に現れる人間		
第11回	9) 自然発生的分業(1)		
第12回	10) 自然発生的分業(2)		
第13回	11) 「ロビンソン物語」に対するマルクスの評価		

第14回	1 2) マルクスに見られる人間類型論の萌芽
第15回	まとめ
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 6
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150586014550	科目番号 / Subject code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (科学と技術の安全・安心)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人, 久保 隆, 田中 俊幸		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育, 経済, 薬学, 水産, 多文化		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部流体エネルギー工学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。		
授業到達目標 / Goal	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心(科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的な事項について、講義により学習をする。さらに、テーマをもとに、みんなで安全・安心について考えて意識を高める。 安全・安心に関する提案を発表する。		
授業内容 / Class outline/Con	人間が安全で快適な生活を送るために、科学技術の発展が図られてきた。一方で、個人などでは処理できないさまざまなシステムが働いている。その中で、安全を維持し安心を図るために必要な基本的な考え方を習得するとともに、組織の中で個人が取り組む安全・安心の意識を育てる。 ・社会では様々な事故が発生し、貴い命が失われることも多い。そのような事故が起こらないように安全を確保することが重要である。そのためには何が重要かを事故の事例とその原因を考えながら学習する。 ・身のまわりの電気機器や電磁波を中心に、目に見えないものが身体へ及ぼす影響について、安全をどうとらえ、安全安心へどのように取り組まれているかを紹介し、安全安心を考える。 ・身のまわりのさまざまな物質に関して、安全を確保するための規制や法律等さまざまな考え方をとらえ、安全への取り組みを紹介し、安全安心を考える。する。		
キーワード / Key word	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全・安心工学入門(古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する		
学生へのメッセージ / Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回 安全と安心の基本的な考え方について		
第2回	第2回 事故の事例と安全意識		
第3回	第3回 事故原因の解析法の紹介		

第4回	第4回 災害とリスクマネジメントについて
第5回	第5回 リスクマネジメントの事例紹介
第6回	第6回 安全文化について
第7回	第7回 安全安心の意識調査 安全安心に関する提案のグループ分け
第8回	第8回 安全・安心に関する法律 安全安心に関する提案の打ち合わせ1
第9回	第9回 電気に関する安全安心1 安全安心に関する提案の打ち合わせ2
第10回	第10回 電気に関する安全安心2 安全安心に関する提案の打ち合わせ3
第11回	第11回 安全安心に関する提案の発表会
第12回	第12回 電磁波に関する安全安心 安全安心に関する提案の総評
第13回	第13回 化学物質の安全・安心 その1
第14回	第14回 化学物質の安全・安心 その2
第15回	第15回 化学物質の安全・安心 その3
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587026999	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (医療現場の安全と安心)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋爪 真弘		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋爪 真弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	橋爪 真弘, 田崎 修, 田中 隆, 新川 哲子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hashizum@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	熱帯医学研究所 小児感染症学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7764		
担当教員オフィスアワー/Office hours	hashizum@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	急速なグローバル化や災害への対策が急務とされる今日の状況において、医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、総合的に理解する。		
授業到達目標/Goal	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識できるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義を基本とする。必要に応じてアクティブラーニング手法を取り入れる。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション: 人々の健康に関する安全と安心 2. 気候変動と感染症 3. デング熱ってなに? 4. エイズは蚊でうつるか? : 蚊と感染症 5. アフリカの暮らしと蚊<特別講師: 吉田浩二> 6. 緊急被ばく時における放射線リスクと危機管理 7. 放射線障害を受けた住民に対する支援活動の実例 8. 医薬品開発の歴史: くすりは毒から作られた 9. 身近な毒と、毒を克服した生物たち 10. くすりと食べ物の境界はどこか(病気の予防と治療) 11. 食とくすりの安全について考える 12. 救急医療の現状と課題 13. 災害医療の現状と課題 14. 救急医療における臓器提供と終末期医療の現状と課題 15. 安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと 		
キーワード/Key word	放射線リスク、災害医療、天然毒、熱帯感染症、気候変動		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。必要に応じて参考書を紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加度、レポート、プレゼンテーション、試験(担当者で異なる。授業の初めに連絡予定)で評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587027399	科目番号 / Subject code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (社会科学からみた安全・安心)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松本 睦樹		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松本 睦樹		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松本 睦樹		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済] 新館 101 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	選択科目 (夜間主)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mutuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	本館511号室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日17:30 ~ 18:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	社会経済の発展は、一方で個人々の日常生活や国家間のレベルにおいて多様な問題を生み出し、同時にそれを解決してきた。本講義では、1つは「安全・安心」を求める個人が社会集団化した現象を、いま1つは国家間の紛争を解決する国際機関が発足した経緯をテーマに、主として経済史的視角から歴史現象を学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	いくつかの歴上の出来事を検証することにより、ある意味で歴史とは人びとが「安全と安心」を求める行動の積み重ねであったことを理解する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	プロジェクターを利用した説明、受講者による発表、レポートの作成など様々な要素を織り交ぜ、シラバスに示した授業計画に沿って講義を進める。また、授業時間を利用して、小テストを何度か実施する予定である。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	集団化、カースト、国際協調		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	使用しない		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テストの成績を100点満点で計算し、それに毎回のレポートの成績や講義への参加状況などを加味する(レポートの不提出や4回を越える欠席などは減点対象とする)。定期試験は行わない。なお、出席すべき講義回数数の3分の2以上を出席することが、単位認定の必要条件である。		
学生へのメッセージ / Message for students	(1) 第1回の講義では本講義に関するルールや評定計算の詳細など重要な点を説明するので、注意すること。 (2) 本講義では15分を超えての遅刻は認めない。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	講義の方法とルール、評定方法などについての説明		
第2回	社会集団化(さまざまな社会集団の形成)		
第3回	同 (社会集団化とカースト)		
第4回	同 (カーストの概要)		
第5回	同 (カーストの事例)		
第6回	同 (カーストの流動化)		
第7回	同 (カースト間の紛争とその解決)		
第8回	同 (経済発展とカースト)		
第9回	国際協調 (国際紛争の顛末)		
第10回	同 (国際協調の試み)		
第11回	同 (国際協調の挫折)		
第12回	同 (国ごとの対応とその限界)		
第13回	同 (世界経済の破綻)		
第14回	同 (第二次大戦の教訓)		
第15回	同 (国際機関の成立)		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587028999	科目番号 / Subject code	05870289
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (破壊事故とヒューマンファクタ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人, 小山 敦弘		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済] 本館 1 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部2年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部1号館 3F機械工学		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日午前8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	過去の事故等を調査しその問題討論することにより、安全に対する意識の向上を図る。		
授業到達目標 / Goal	安全を確保するための方法について考え、討論を行うことが出来る。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義、調査、発表、討論からなる演習形式。特に、安全工学の概略について教員から講義を受け、共に討論を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>事故や災害に関わる問題では、設備や装置の安全な設計、それを運転する人間の教育、システムとしてのマネイジメント・保守管理、組織(企業・経営)など様々なレベルがあり、各レベルにおける事故原因がある。また、原因ばかりでなく、その影響の大きさや広がりも把握することも重要である。さらに事故や災害時の対応やその後の対策も重要である。各回の授業において、それらについて調査し議論をおこなう。また、リスクアセスメント等の重要な考え方について演習を踏まえて学ぶ。</p> <p>1回 安全工学の概論(その1:リスクアセスメント) 2回 安全工学の概論(その2:安全文化) 3回 安全工学の概論(その3:グループ討議の検討) 4回 調査・討論(概略、状況、原因の調査:その1) 5回 調査・討論(概略、状況、原因の調査:その2) 6回 調査・討論(概略、状況、原因の調査:その3) 7回 調査・討論(対応、その後の経過:その1) 8回 調査・討論(対応、その後の経過:その2) 9回 調査・討論(対応、その後の経過:その3) 10回 調査・討論(事故の分析:その1) 11回 調査・討論(事故の分析:その2) 12回 調査・討論(事故の分析:その3) 13回 調査・討論(事故の分析:その4) 14回 調査・討論(全体討論:その1) 15回 調査・討論(全体討論:その2)</p> <p>クラス全体で最終発表を行う。各班は調査結果をパワーポイントを用いて発表するとともに、討論する。</p> <p>課題例: ソニーリチウム電池事故、日比谷線脱線衝突事故、シンドラエレベータ問題、六本木回転ドア事故、スペースシャトルチャレンジャー・コロンビア事故、H ロケット事故、東海村臨界事故、もんじゅNa漏れ事故、雲仙普賢岳噴火災害、長崎大水害、アスベスト問題など</p>		
キーワード / Key word	安全工学、事故、リスクアセスメント、安全文化		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全工学資料室にある資料(安全工学に関する参考書、安全工学や事故に関するビデオ)を利用する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>・評価方法: レポート70点, プレゼンテーション30点の合計が60点以上を合格とする。</p> <p>・評価基準: 事故をよく調査しているか。関係者の事故や災害への対応とその後の対策についてよく調べているか。リスクアセスメントや事故後の情報や対策の展開の妥当性について考えているか。プレゼンテーションはわかりやすかったか。</p>		

受講要件（履修条件）/Requirements

- ・ 1年次の「安全・安心のモジュール」を聴講していることが望ましい。
- ・ 全回出席を原則とする。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 7
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587029399	科目番号 / Subject code	05870293
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (水環境の安全と安心)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田邊 秀二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田邊 秀二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田邊 秀二, 夢田 彰秀		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]本館12(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	経済(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-tanabe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	工学研究科(総合教育研究棟7F709)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2659		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00-12:50(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本は地球の温帯地域にあり、四季を通じて降雨があるため水には恵まれてきた。しかし、途上国においては、安全な飲料水の確保は喫緊の問題であり、日本に限らず、先進国の水処理技術の導入が急がれている。この講義では、工学研究科の水環境技術者育成に関わる教員により、水環境に関する技術の現状、問題点を整理し、日本の持つ先進的なモニタリング技術、アセスメント、膜や生物処理を使った最先端水処理技術などを理解することで、普段気づかない水環境の安全・安心について考える。		
授業到達目標/Goal	水環境に関する問題について解説できる。水環境のモニタリング技術、廃棄物問題、水処理技術について説明できる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義を基本とする。必要に応じてアクティブラーニング手法を取り入れる。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	水、膜、廃棄物、水環境、分離、生物処理、シミュレーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。必要があればプリントを配付し、参考書を紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義への積極的参加(40%)、レポート課題の評価(60%)の総合点で評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション：有明海や水俣湾における水環境の現状		
第2回	水環境モニタリング技術について		
第3回	水道と水源池		
第4回	水源を守る		
第5回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(1)		
第6回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(2)		
第7回	化学薬品、重金属などの危険物質の現状と対策について		
第8回	世界の水環境問題と膜分離技術の貢献について		
第9回	<水を造る>膜分離技術概論 - 現状と展望 -		
第10回	<水を再生する>膜分離技術概論 現状と展望 -		
第11回	水環境生態系の保全と修復		
第12回	環境シミュレーションの方法と数値計算の原理		
第13回	コンピュータによる数値計算の手続き		
第14回	環境問題へのシミュレーションの応用例		
第15回	水環境の安全・安心に関する総括と評価試験		
第16回	評価結果に対する指導		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587043399	科目番号 / Subject code	05870433
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会 (安全と安心の街づくり)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	安全安心というキーワードを通して、真に豊かな生活を考える		
授業到達目標/Goal	真に民主政治を担うことが出来る、自立した個人を育成する		
授業方法(学習指導法)/Method	課題に関する資料の読み込み、ディスカッション、共通理解		
授業内容/Class outline/Con	安全安心の街とは何かをあらゆる方面から考え、その中での個人の役割を認識する		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	植木とみ子著「市役所の女」海鳥社、プリント、行政資料		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	課題30%、授業参加度30%、試験40%		
学生へのメッセージ/Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	防災 あなたにとって安全安心の街とは		
第2回	防災 具体的な行動		
第3回	防犯 無力な存在はどう護られるか		
第4回	防犯 あなたは安全な環境にいるか		
第5回	防犯 あなた自身の心は安全か		
第6回	安全安心の街とは 長崎は住みやすいか		
第7回	環境・街づくり 長崎の道路事情		
第8回	環境・街づくり ユニバーサルデザインの街		
第9回	環境・街づくり 水資源をどう護るか		
第10回	環境・街づくり ごみ減量の取組み		
第11回	子育て・教育 母親の孤立を防ぐ		
第12回	高齢者・障害者 弱者支援とは		
第13回	地域での共生を考える		
第14回	生活の中での安全安心 食品問題と消費者問題		
第15回	安全安心の街はどう造られるか		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590001050	科目番号 / Subject code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他 , A科目群 外国語科目(既習), A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[経済]本館MS1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(19:30~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることができるリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス「体験的・こまざれ比較文化論」も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表)30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)		

第2回	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第3回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第4回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第5回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第6回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第7回	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第8回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第9回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第10回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第11回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第12回	On an Airplane(1)
第13回	On an Airplane(2)
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 6
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590001051	科目番号 / Subject code	05900010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他, A科目群 外国語科目(既習), A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[経済]本館MS1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(19:30~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることができるリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス「体験的・こまざれ比較文化論」も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	(1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表)30%、等の総合判定によって評価を行なう。		
受講要件(履修条件)/Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)		

第2回	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第3回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第4回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第5回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第6回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第7回	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第8回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第9回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第10回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第11回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第12回	On an Airplane(1)
第13回	On an Airplane(2)
第14回	At an Airport(1)、洋楽を聞き取る
第15回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590003050	科目番号 / Subject code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	白水 桂子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	白水 桂子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	白水 桂子		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他, A科目群 外国語科目(既習), A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[経済] CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所 2階		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日17:00~17:30、授業終了直後、またはメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校までの文法事項の復習をしながら、総合的な英語運用能力向上のためにリスニング、リーディングと共にスピーキング、ライティングにも役に立つ語彙や表現を学習します。		
授業到達目標/Goal	重要文法事項の復習をし、頻出語彙、表現などを身につけ、今後の英語の運用能力向上に役立つようにする。		
授業方法(学習指導法) / Method	DVDを使用してディクテーション等の練習問題をした後、内容の確認をします。リーディングのセクションでは文法事項の復習をしながら内容把握をします。		
授業内容/Class outline/Con	DVD視聴後の練習問題、Readingに基づく練習問題が中心になります。毎回、事前に割り当てを行う予定です。(授業の進度によって、取り扱うChapterの箇所が変わることがあります。)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Clara Birnbaum / 高山一郎(編著) Getting Personal Using Videoclips: Watch, Listen and Read(松柏社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的参加状況(課題等も含む)40% 期末試験、復習テスト60% 以上により総合的に評価します。		
受講要件(履修条件) / Requirements	ある一定の回数以上欠席すると、期末試験の受験資格がなくなります。30分以上の欠席、授業終了前の早退は欠席と見なします。特別な事情がある場合は個別に相談して下さい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Language: the road to miscommunication (1)		
第2回	Language: the road to miscommunication (2)		
第3回	Language: the road to miscommunication (3) その他の語彙等		
第4回	Big Decisions: the less common path (1)		
第5回	Big Decisions: the less common path (2)		
第6回	Big Decisions: the less common path (3)		
第7回	1回目~6回目のまとめ 復習テストを含む		
第8回	Gender and Language: hidden sexism (1)		
第9回	Gender and Language: hidden sexism (2)		
第10回	Gender and Language: hidden sexism (3) その他の語彙等		
第11回	Newspapers: different roles (1)		
第12回	Newspapers: different roles (2)		
第13回	Newspapers: different roles (3) その他の語彙等		
第14回	その他のChapterの語彙、Useful Expressions		
第15回	授業の総括(テストを含む)		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 6
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590003051	科目番号 / Subject code	05900030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丸山 真純		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	丸山 真純		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	丸山 真純		
科目分類 / Class type	教職免許科目・その他 , A科目群 外国語科目(既習), A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[経済] CALL教室		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masazumi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	東南アジア研究所312		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月 17:00 - 18:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	e-learning教材を用いて、リスニング、スピーキング、発音、また、語彙やイディオムを総合的に学ぶ。 具体的には、English Centralを用いて、さまざまなトピックのスピーチ、インタビュー、会話などの教材を通じて、聞き取り(ディクテーション)、発音やスピーキング、語彙やイディオム(必要に応じて、文法事項)などの学習を行う。		
授業到達目標 / Goal	リスニングやスピーキング、語彙・イディオム、文法の力を伸ばす。		
授業方法(学習指導法) / Method	CALL教室にて、担当教員による解説のほか、個人個人による練習、Pair-Work Group-Workなど、コミュニケーション活動を重視する		
授業内容 / Class outline / Con	教材に基づき、以下の事柄を学習し、実際に運用できるようにする。具体的な内容は以下の通り(ただし、教材は日々更新されているので、以下の内容はおおよその目安と考えてもらいたい。また、受講生の興味・関心を勘案し教材を変更する可能性がある)。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	English Central (3000円程度) ほか、資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回、授業の最初に、授業で学んだ表現についての簡単な確認を行う。また、授業の終わりには、ふりかえりを提出してもらう。これらが全体で40点に相当する。 また、小テストを3回行う(最後の小テストはテスト期間になる予定)。1回20点×3回=60点である。授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
学生へのメッセージ / Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 また、進捗状況に応じて、Quizの日時等は変更になるので留意されたい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction English Centralの基本的な使用方法		
第2回	Interview of Kei Nishikori (1)		
第3回	Interview of Kei Nishikori (2)		
第4回	Daily Conversation (1)		
第5回	Daily Conversation (2)		
第6回	Quiz 1 Pronunciation (1)		
第7回	Travel Conversation (1)		
第8回	Travel Conversation (2)		
第9回	Daily Conversation (3)		

第10回	Quiz 2
	Pronunciation (2)
第11回	Daily Conversation (4)
第12回	Steve Jobs' Speech (1)
第13回	Steve Jobs' Speech (2)
第14回	Pronunciation (3)
第15回	Pronunciation (4) Catch-up & Review
第16回	Quiz 3

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005050	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丸山 真純		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	丸山 真純		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	丸山 真純		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所312		
担当教員TEL/Tel	820-6376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金 17:00 - 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	音声教材を用いて、音声面の特徴の理解にとどまらず、語彙やイディオム、文法について学ぶ。具体的には、90分の授業を3つに分ける：5分間リスニング演習と解説； Check the Soud (英語の音声に関わる特徴を体系的に学ぶ)； 洋楽(や日本の音楽が英訳された曲)を用いた演習と解説。		
授業到達目標/Goal	英語音声の特徴が理解できるようになること、および、実際に聞き取ることができるようになること。		
授業方法(学習指導法)/Method	音声教材の聞き取り演習、Pair-Work、Group-Work、ならびに教員による講義		
授業内容/Class outline/Con	教科書に基づき、以下の事柄を学習し、実際に運用できるようにする。具体的な内容は以下の通り。		
キーワード/Key word	英語リスニング 基本英文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	A Shorter Course for TOEIC Listening 450, Nan-undo. また、資料を配布する。 文法事項について言及するので、高校時に使用した参考書を持参してください。もし購入する場合、『フォレスト』をお勧めします。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回、授業最初に、授業で学んだ表現についての簡単な確認を行う。また、授業後には、ふりかえりを行う。これらは全体で40点に相当する。 また、小テストを3回行う(最後の小テストはテスト期間になる予定)。1回20点×3回=60点である。授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。		
学生へのメッセージ/Message for students	科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 内容は理解度に応じて、変更する場合がある。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction Unit 1 Part 1		
第2回	Unit 2 Part 1 音声(同じ子音や似た子音が続く場合) Maria Carey, Without you		
第3回	Unit 3 Part 1 音声([d], [t] + you) Celine Dion, To love you more		
第4回	Unit 4 Part 1 音声([k], [v], [n] + you) Gerry Goffin & Michael Masser, Nothing's gonna change my love for you		

第5回	Unit 5 Part 1 音声 ([k], [p], [s], [t], [ch] + 母音) John Lennon, Beautiful Boy
第6回	Quiz 1 Unit 6 Part 2 音声 (音が弱くなる! (he, his, him)) Stevie Wonder, Isn't she lovely?
第7回	Unit 7 Part 2 音声 (音が弱くなる! (her)) Stevie Wonder, I just called to say 'I love you'
第8回	Unit 8 Part 2 音声 (母音に挟まれた[t]) Al, Story
第9回	Unit 9 Part 2 音声 ([r] + 母音) Beni, Sakurazaka
第10回	Unit 10 Part 2 音声 ([n] + 母音) Beatles, Hey Jude
第11回	Quiz 2 Unit 11 Part 3 音声 ([m] + 母音) Eric Clapton, Tears in Heaven
第12回	Unit 12 Part 3 音声 (冠詞のa) ABBA, Dancing Queen
第13回	Unit 13 Part 3 音声 ([t] + [l]) Billy Joel, Just the way you are
第14回	Unit 14 Part 3 音声 ([l] + 母音) Bob Dylan, Blowin' in the wind
第15回	Unit 15 Part 3 音声 (読まない文字) Catch-up & Review
第16回	Quiz 3

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590005051	科目番号 / Subject code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	英語コミュニケーション		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	白水 桂子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	白水 桂子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	白水 桂子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[経済] CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所 2階		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日17:00~17:50、授業直後、またはメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な語彙や文法の確認に重点を置き、対話の音読や英文の筆写で記憶を定着させる事を目標にします。		
授業到達目標/Goal	基礎的文法事項を身に付けた上で、やさしい英文の読み書きが出来るようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	予習してきた内容の確認をした後、文法事項の練習問題をします。また、ListeningやペアでのSpeakingの練習、対話の筆写も行います。		
授業内容/Class outline/Con	指定箇所を授業の予習として済ませてきてください。授業では、WARM-UPで取り上げた文法事項の確認問題、対話の空所補充や音読の練習をします。復習テストや対話の筆写等も予定しています。また、テキスト以外の練習問題も適宜用意します。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	角山照彦・Simon Capper(著) Let's Read Aloud & Learn English! (音読で始める基礎英語) 成美堂 (昨年度使用したテキストと同じです)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	復習テスト・期末試験60% 授業への積極的参加状況(課題なども含む)40% 以上により総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	ある一定の回数以上欠席した場合は、期末試験の受験資格がなくなります。20分以上の遅刻や授業終了前の早退は欠席と見なします。特別な事情がある場合は個別に相談してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Unit01~04の復習		
第2回	Unit 05~07の復習		
第3回	Unit 08~10の復習		
第4回	Unit 11 We expect higher sales in China. 比較		
第5回	Unit 11 Let's Read		
第6回	Unit 12 I'd like to check in. 助動詞2		
第7回	Unit 12 Let's Read		
第8回	Unit 01~Unit 12のまとめ (復習テストを含む)		
第9回	Unit 13 How about going to the theater? 動名詞		
第10回	Unit 13 Let's Read		
第11回	Unit 14 I like to travel a lot. to不定詞		
第12回	Unit 14 Let's Read		
第13回	Unit 15 What are your plans for the future? 接続詞		
第14回	Unit 15 Let's Read		

第15回	Unit 13~Unit 15のまとめ (復習テストを含む)
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590009050	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	夜間主コース		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控え室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業開始前10分間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語の構成法を学ぶこと、語彙を増やすこと、英語らしい読み方が出来ることがねらいである。この三点をマスターさせることにより、今後の英語学習につなげたい。		
授業到達目標 / Goal	英語構成を確実に身につける。派生語を理解し、語彙を増やす。英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。		
授業方法(学習指導法) / Method	教科書の、語句と英文構成に関する練習問題(特に、1と2)を中心に学習し、英語構成をマスターし、派生語を中心に語彙力を向上させる。各章の最初の段落をoverlapping, shadowingをしながら、英語らしい読み方を習得する。更に、時間が許す限り、本文を把握する練習をする。毎回、授業開始時に、その日の予習課題から小テストを行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	語彙力、英文構成法、音読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「Peace Talk」(開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc 外著)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末テスト (50%) 小テスト (40%) 課題・授業中の活動 (10%)		
受講要件(履修条件) / Requirements	欠席が5回となると失格する。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
学生へのメッセージ / Message for students	毎回宿題(教科書の練習問題)を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。ほぼ毎週、その日の予習課題から小テストを行う。教科書のお下がりには不可。同じ教科書で受講した再履修者に限っては本人の教科書であれば再使用も可能だが、新教科書で新たに学習することを奨励する。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売 / 授業の進め方、教科書の使い方、英文構成法、英文と日本語の違い、小テストについて、等		
第2回	小テスト Ch. 1 / Ch.1: September 11 (語彙・英文構成、音読)		
第3回	小テスト Ch. 2 / Ch.2: Beyond "September 11" (語彙、英文構成、音読)		
第4回	Review / 内容把握問題		
第5回	小テスト Ch. 3 / Ch.3: The Stone Walk (語彙・英文構成、音読)		
第6回	小テスト Ch.4 / Ch.4: Students' Power in the Stone Walk (語彙・英文構成、音読)		
第7回	小テスト Ch.5 / Ch.5: Japan and My Family (語彙・英文構成、音読)		
第8回	小テスト Ch.6 / Ch.6: The Japan that I love (語彙・英文構成、音読)		
第9回	Review / 内容把握問題		
第10回	小テスト Ch.7 / Ch.7: Paper Sculpture (語彙・英文構成、音読)		
第11回	小テスト Ch.8 / Ch.8: The Ture of the Exhibition (語彙・英文構成、音読)		
第12回	小テスト Ch.11 / Ch.11: Prayer for Peace (語彙・英文構成、音読)		

第13回	Review / 内容把握問題
第14回	小テスト Ch.12 / Ch.12: Japanese Young Volunteers in America (語彙・英文構成、音読)
第15回	Review 全体の復習
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 7
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590011050	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 有介		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	夜間生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	外国語学習への第1歩は既成概念を拭い去り、広い視野を持って学習に臨むことである。イギリスやアメリカの文化・習慣を知ることもちろんのことであるが、日本やアジアの文化・習慣との違いを知ることにより深い英語の表現を学習することができるのである。そして、違いだけでなく実は共通点にも気づくことになるであろう。言語の違いはそれ程問題ではなく、価値観の違いが言語表現の違いを生み出しているとも言えるからである。		
授業到達目標/Goal	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	短い英文を読み、読解力を鍛えるとともに文法力の確認、語彙力作文力を通して表現力をの向上を目指す。Speakingの練習も同時に行う。		
授業内容/Class outline/Con	毎回1つのUnitを進めていく。 Reading Comprehension Vocabulary Listening Grammar Summary Let's workを行う。		
キーワード/Key word	Reading/Writing/Listneing/Speaking/Vocabulary/文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Tomorrow (Muroi Michiko著-Pearson)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、中間試験30%、小試験20%		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション: 授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ		
第2回	Unit01: The Dreams of Nadeshiko Japan (Sports)		
第3回	Unit02: Dance! Dance! Dance!(Education)		
第4回	Unit03: The Fastest Human in the world (Science)		
第5回	Unit04: TOKYO SKYTREE:ANew Japanese Landmark (Architecture)		
第6回	Unit05: The Future of Energy: It's Our Choice (Energy)		
第7回	Unit06: Manga and Anime Reach Out to the World (Culture)		
第8回	中間としてのまとめ(テストを含む)		
第9回	Unit07: Sweets Make People Smile (Food)		
第10回	Unit08: Mobile Evolution: From Shoulder Phone to Smartphone (Technology)		
第11回	Unit09: Shine in Your Own Way (Entertainment)		
第12回	Unit10: See You in the UK (Country)		
第13回	Unit11: Stay Hungry, Stay Foolish (Person)		
第14回	Unit12: Is There Food for Everyone? (World)		
第15回	Unit13U~Unit15から1つ選択 Unit13: How Does "Endaka" Affect Us? (Economy) Unit14: The Most Popular Philosophy Class in the World (Philosophy) Unit15: Planting the Seeds of Peace (Person)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20150590013050	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	総合英語		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 有介		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習)		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	演習
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本人の目を通して感じる異文化世界ではなく、外国人が日本で働く際に感じる異文化の世界を疑似体験する。外国人が日本の文化・習慣との違いを知ることにより深い英語の表現を学習することになる。Text教材の洗練されたListeningCDではなく、実際のインタビューの音声を聞くことでListening力を向上させたい。また、DVDの映像によりバーチャルな英語に慣れ親しんでほしい。		
授業到達目標/Goal	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業方法(学習指導法)/Method	短い英文を読み、読解力を鍛えるとともに文法力の確認、語彙力作文力を通して表現力をの向上を目指す。Speakingの練習も同時に行う。		
授業内容/Class outline/Con	毎回1つのUnitを進めていく。Key Vocabulary Introduction:First Viewing Second Viewing Interview: Predicting Topic 1 Topic 2 Topic 3 Speaking Practice Share Your Ideas: Competing in the Job Market Reading Passage(Comprehension Check Your Opinion)		
キーワード/Key word	Reading/Writing/Listneing/Speaking/Vocabulary/文法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Working in Japan (Alice Gordenker/John Rucynski, Cengage Learning)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、中間試験30%、小試験20%		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション: 授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ		
第2回	Unit 1: Sales Can Be like Acting		
第3回	Unit 2: Travel Opens Up the World		
第4回	Unit 3 : Love Sells Cars		
第5回	Unit 4: Translating Is More than Wrds		
第6回	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service		
第7回	Unit 6: Toast Your Success!		
第8回	中間としてのまとめ(テストを含む)		
第9回	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Besst		
第10回	Unit 8: Build a Happy Life!		
第11回	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle		
第12回	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change		
第13回	Unit 11: Connect Workers with Companies		
第14回	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention		
第15回	Unit 13とUnit 14のいずれから1つ選択 Unit 13: What's the Recipe for Success? Unit 14: Help Animals for a Better Society		
第16回	全体のまとめ(定期試験を含む)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0, 0.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151505001102	科目番号 / Subject code	15050011
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11471_038		
授業科目名 / Subject	国際関係概論 / Introduction to International Relations		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	青山 繁 / Aoyama Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	青山 繁 / Aoyama Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	青山 繁 / Aoyama Shigeru		
科目分類 / Class type	カリキュラム外科目, 学部導入科目, 自由科目 (全学・専門), 学部モジュール科目, 査定外		
対象年次 / Year	1, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 1 2 (講義室)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	最初の授業で通知する		
担当教員研究室/Laboratory	本館602		
担当教員TEL/Tel	最初の授業で通知する		
担当教員オフィスアワー/Office hours	最初の授業で通知する		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	国際社会の歴史的変遷、国際社会が抱える諸問題などについて基礎的理解を得ることを目的とする。		
授業到達目標/Goal	現代の国際社会について理解を深めるために必要な素養を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式で行う。		
授業内容/Class outline/Con	第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 国際社会の現状 第 3 回 国際関係の歴史的変遷(1) 第 4 回 国際関係の歴史的変遷(2) 第 5 回 国際社会が抱える諸問題(1) 第 6 回 国際社会が抱える諸問題(2) 第 7 回 国際社会が抱える諸問題(3) 第 8 回 国際取引(1) 第 9 回 国際取引(2) 第10回 国際取引(3) 第11回 国際取引(4) 第12回 国際協調(1) 第13回 国際協調(2) 第14回 国際協調(3) 第15回 授業の総括 第16回 試験		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 (100%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001503	科目番号 / Subject code	15170015
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11501_036		
授業科目名 / Subject	金融概論 / Introduction to Finance		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	深浦 厚之 / Fukaura Atsuyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	深浦 厚之 / Fukaura Atsuyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	深浦 厚之 / Fukaura Atsuyuki		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 1 2 (講義室)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	夜間主コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	afukaura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所210		
担当教員TEL/Tel	095 857 5217		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日講義終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教養教育学部モジュール科目の一つであり、経済学部で学ぶために必要な基礎的な知識を身につけることを目的とする。		
授業到達目標/Goal	金融を学ぶために必要なごく基本的な概念について正確な理解を得る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義方式		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 金融を学ぶ視点 2 . 貨幣とは何か 3 . 購買力とは何か 4 . 借入れ・貯蓄とは何か 5 . 投資とは何か 6 . 利子率とは何か 7 . 資金調達とは何か 8 . 破産・信用とは何か 		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 教科書は用いない。 2 . 講義資料は毎回、スクリーンに投影するほか、LACSに公開している。印刷物を配布しないので、各自、ダウンロードもしくは印刷して講義の際に持参することが望ましい。 		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	単位認定は期末試験のみで行う。評価基準は学則記載のとおり。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001703	科目番号 / Subject code	15170017
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11601_039		
授業科目名 / Subject	経営概論 / Introduction to Management		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]新館101(講義室)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	+81-95-820-6384		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14時から20時まで。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>本講義は、経営学と呼ばれる学問領域について、全体像を提供することを目的とする。とくに、管理(経営資源を配分・調整すること)に着目して論じる。</p> <p>経営学に関心を有する諸君は、本講義によって当該領域に関する概要を知り、以降の学修に役立てられんことを願うや切である。</p>		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営学における主要な概念を理解すること。 2. 上記概念が成立した過程を知ること。 		
授業方法(学習指導法)/Method	講義による。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	所有と経営の分離; 株式会社; 科学的管理法; 人間関係論; 統計的品質管理; 品質保証; 労働生産性; 能率		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書は、使用しない。担当教員が、教材を配布する。</p> <p>参考書として、以下2点を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土屋守章(1994)『現代経営学入門』新世社。 2. 早川豊彦編(2004)『工業管理技術』実教出版。 		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト: 30% 定期試験: 70%		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし。 通算して4回以上欠席した学生は、定期試験を受験する権利を喪う。		
学生へのメッセージ/Message for students	一層奮励努力せよ。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション : 講義目標と方法について説明する		
第2回	企業形態1/2 : 資金調達法に着目、株式会社生成に至る過程を概説する。		
第3回	企業形態2/2 : 株式会社における所有と経営の分離とその問題点について論じる。		
第4回	企業組織1/2 : ライン組織やライン=スタッフ組織など諸形態について、発生と長短を論じる		
第5回	企業組織2/2 : 事業部制生成と発展について、概説する。		
第6回	工程管理1/2 : 生産計画中、特に日程計画および工数計画について、手法を運用しながら解説する。		
第7回	工程管理2/2 : 工程分析と作業研究について、意義と手法を概説する。		
第8回	科学的管理法1/2 : 概要と取り組む諸活動を、背景に言及しながら論じる。		
第9回	科学的管理法2/2 : 科学的管理法以降に現れた、様々な動機付け手法について解説する。		
第10回	品質管理1/2 : 品質管理が掲げる目的と手法を、練習問題をとりまぜながら解説する。		
第11回	品質管理2/2 : 近年における検査および品質保証活動について、意義を概説する。		

第12回	人事管理 : 労働者を合理的に活用する諸活動について、概説する。
第13回	労働生産性 : 企業活動から得られる成果を評価する一指標について、計算しながら解説する。
第14回	労働生産性 : 企業活動から得られる成果を評価する一指標について、計算しながら解説する。
第15回	環境管理 : 自然環境に負荷を与えないように、なにをすべきか論じる。
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 7
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517001903	科目番号 / Subject code	15170019
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11101_038		
授業科目名 / Subject	経済概論 / Introduction to Economy		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済] 本館 1 2 (講義室)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所215号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週火曜日21:10-22:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	マクロおよびミクロ経済学の基礎的知識を身につける。		
授業到達目標/Goal	マクロ経済・ミクロ経済にかかる事象・手法を理論的に説明できるようになることを目標とする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	スライドを用いた講義形式で進める。		
授業内容/Class outline/Con	(概要) 経済学部で学ぶために必要なマクロ経済およびミクロ経済の基礎について概説する。 第1回 授業ガイダンス・経済学とは何か (ミクロ経済学) 第2回 需要と供給 1 第3回 需要と供給 2 第4回 市場の失敗 1 第5回 市場の失敗 2 第6回 不確実性と不完全情報 第7回 ゲーム理論 (マクロ経済学) 第8回 国内総生産 第9回 物価と失業 第10回 乗数メカニズム 第11回 貨幣の役割 第12回 国際経済 第13回 経済成長 第14回 財政と経済政策 第15回 まとめ 第16回 講義総括 (試験を含む)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト : 伊藤元重 『入門経済学 (第 4 版) 』 日本評論社。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験 (100%) 。 60点以上を合格とする。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 6
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151517002103	科目番号 / Subject code	15170021
科目ナンバリングコード / Numbering Code	ECMC 11201_036		
授業科目名 / Subject	法学概論 / Introduction to Law		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村山 洋介 / Yosuke Murayama		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村山 洋介 / Yosuke Murayama		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村山 洋介 / Yosuke Murayama		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[経済]本館12(講義室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜6校時終了後とするが、これ以外の時間帯でも可能な限り対応する。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業では、日常生活に関わる法的諸問題を素材として、法の役割・機能を学習する。		
授業到達目標 / Goal	本授業では、生活と法の関わりについて理解する、法的なものの考え方(法的思考方法)について理解する、これらを通じて法律系科目を履修するうえで必要な基礎的素養を涵養する、ことを目的とする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教員が作成したレジュメをもとにして、講義形式で行う。レジュメは、事前に配布する。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	民法・刑法・刑事訴訟法・少年法・憲法・消費者法・経済法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は特に指定しない。参考書として、末川博『法学入門 第6版補訂版』、伊藤正巳他『現代法学入門』を指定する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	学期末に実施する期末試験(100%)で評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	*授業には、六法を持参すること。試験には、書き込みのある六法の持ち込みは禁止するので、注意すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とは何か - 法の役割と機能		
第2回	法の分類 - 私法と公法、実体法と手続法		
第3回	法の適用 - 法的三段論法		
第4回	暮らしと法 - 契約から生じる法的責任		
第5回	暮らしと法 - 不法行為と損害賠償		
第6回	家族と法 - 夫婦、親子関係		
第7回	家族と法 - 離婚、相続		
第8回	消費者と法 - 消費者の保護		
第9回	刑罰と法 - 犯罪と刑罰		
第10回	刑罰と法 - 少年犯罪		
第11回	交通事故と法 - 交通事故から生じる法的責任		
第12回	経済と法 - 経済活動に関する法規制		

第13回	基本的人権と法
第14回	統治機構と法
第15回	選挙と法 - 我が国における選挙制度
第16回	授業内容の確認と総括